

57. 農業経営章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) 農業（畜産を含む）経営に必要な記録と帳簿について説明すること。	□	
(2) 納税申告の時期、方法及びこれに必要な証票、記録を整理し説明できること。	□/記	
(3) 農産物または畜産物を売り渡すときに必要な帳簿類の記入実例を学び、その一例について写しを作成提出すること。	報	
(4) 次のいずれか1つについて調査を続け、記録に基づいて報告書を作成し、説明できること。 ア 農作物（米、麦、野菜、果樹、飼料植物、その他の内1つ）の1年間の生産量と、直接生産に要した費用 イ 畜産物（鶏、卵、牛乳、豚、ウサギ、その他の内1つ）についても、6か月間の生産量と、直接生産に要した費用	報	
(5) 近隣で生産されている農作物、または家畜、畜産物のいずれか1種について、付近消費地での市場価格の変動をなるべく詳細に1年間継続記録して、報告書を作成提出すること。	録・報	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

58. 簿記章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) 次に掲げる簿記検定試験のいずれか1つに合格すること。 ア 日本商工会議所主催の簿記検定3級 イ 財団法人全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定第2級	証	
(2) 決算書などを例示し、次のことを説明できること。 ア 流動資産と流動負債 イ 引当金 ウ 営業外損益 エ 固定資産と減価償却 オ 付加価値または仕訳帳	□	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

59. 無線通信章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) アマチュア無線技士の資格があること。	証	
(2) 和文通話表により、電文を送話できるとともに、欧文通話表を用いてアルファベットを言えること。	実	
(3) 国内10局以上の交信記録と交信証(QSLカード)5枚以上を提示すること。	録	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

60. 有線通信章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) 電気章に合格すること。	証	
(2) 電話機の構造と、その機能を説明し、正しい取り扱い方と、通話上の常識を心得ていること。	□/記	
(3) 和文通話表により、電文を送話できるとともに、欧文通話表を用いてアルファベットを言えること。	実	
(4) 外線を所容し得る任意の交換機について、主要部の機能を説明できること。	□/記	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印